

—身近な開かれた議会をめざして—

第3回 議会報告会を開催

懇談テーマ：まちづくり



—平成24年11月22日開催—

議会では、広く町民の皆さまと直接お話しをする機会を設けるため、昨年に引き続き、第3回の議会報告会を平成24年11月22日（木）に開催しました。

13名の議員を2班に分け、1班6名は、日新会館と保健福祉総合センターかみんで、2班7名は、里仁会館とセントラルプラザで、それぞれ、平成24年第1回定例会（3月）から第3回（9月）定例会までの本会議で議決された内容などを報告しました。

また、懇談テーマを「まちづくりについて」として、町民と議員の間で、意見の交換などが行われました。

4会場合わせて37名という少ない参加者で、今後の議会報告会のあり方についても、厳しいご意見を頂きました。

報告会で寄せられた要望事項については、内容を精査し、町長に提出後回答を得ましたので、3～4ページにその内容を記載しています。

上富良野町議会

議会報告に意見が！

議会で平成24年9月まで議決した町の予算など、議会だよりを資料に報告し、参加者から次の貴重な意見をいただきました。

観光

上富良野は自然景観がいいが、景観は毎年変わるの、議員の皆さんも、観光地巡りをして欲しい。
全道フットパス大会が開催されるが、町の参加などお願いしたい。

プレミアム商品券

利用できる店が分からないと予約もできない。スーパーで使えるのか。個人の店でしか使えないのであれば、作っても無駄ではないか。

エゾシカ対策

エゾシカは増えているので、自然保護のために電気牧柵の設置もいいが、バランスもあるので駆除して欲しい。

災害復旧

災害復旧で建設業界の動きが遅い。職員が見回りに来るが、復旧工事に来ないので改善して欲しい。

光ファイバー

当町は通信の環境が悪いから、商売をしたい若い人たちも来ないのではないかと。美瑛は去年光ファイバーが入った。市街地の通信速度は早いかもしれないが、郡部では遅くて困っている。

議会報告会

参加者が少なすぎる。議員の皆さんの声かけが足りないのではないかと。実施の有無を含めて検討すべき。

その他

役場の車両の更新が40万キロや12年では早すぎる。

意見交換とQ&A

防災

町民 十勝岳の異変時に避難騒ぎがあったが、避難先が二転三転し、観光客が右往左往し、写真を見ると避難者が床にごろ寝していた新聞報道であった。役場担当者の談話では、訓練の成果があり、



事故なく避難できたことだったが、枕も毛布もなくごろ寝する姿が報道されたことはマインスイメージではなかったか。

議員 避難者全員に毛布などは配付されており、食料・飲料水もコンビニから町が調達している。不足な部分もあったと思うが、対応はされていること確認している。確かに新聞の写真だけを見ると、対応不足なイメージを持たれても仕方がない。今後に反映したい。

予約型乗合タクシー

町民 予約型乗合タクシーの効果は。

議員 平成23年度実績は、夏季間1台当たり174人で、冬期間は24人程度。2社のハイヤー会社が運行している。メーター料金と利用料金との不足額を町が支払う。平成23年度は約22万円を町が負担している。平成24年8月現在の登録者は56名で、稼働率は75%。1日往復4便のうち9時台の812名、62.7%が最も利用が多く、公共施設・病院・地区の会館・買物などに利用されている。



■ 生活灯

町民 LED生活灯の整備状況と節電効果は。

議員 生活灯は全部で930灯あり、平成23〜25年度で整備を計画している。平成23年度30灯。平成24年度現時点で105灯改修、45%整備済み。25年度までに90%整備を予定している。効果として電気代が半減、電球維持費等が6割程度。平成23年度の電気料は、算出が困難だが、平成22年度に比べ、電気料補助が18万4千300円減額した。

■ 上富良野高校

町民 上富良野高校の存続と町の支援について。廃校の危惧があると噂も飛んで、中学校の先生も、保護者も、生徒も心配している。

議員 平成24年度予算で町内の学生に対して、入学準備金を2万円から6万円へ、就学支援金を毎月5千円等32万1千円を就学支援や、部活動への支援等予算措置済み。次年度予算の説明では、町外から通う生徒への交通費や下宿者助成し、



760万ほどに増額。

上富良野高校は道立高校で、町が直接独自の学科を設置することはできない。現在北海道の高校設置計画では、上富良野高校の削減計画は一切ない。VODシステムなどもあり、学習の幅も広げ振興策も充実させ、町も上富良野高校の維持対策を図っている。



■ 移住・定住

町民 お試し暮らしでの移住等に結び付いた実績や年齢層などは。

議員 移住準備住宅は平成23年度に27件の相談、14戸22名が定住。お試し暮らしは今年度から実施のため実績はまだ無い。

■ 観光

町民 上富良野は農業と観光の町だが、観光客も減ってきている。冬季の観光対策としてかみふらの八景と5大名所の13箇所は除雪してはどうか。

議員 富良野・美瑛の間で立ち遅れてはいるが、現在、観光振興計画を策定中。観光振興には行政の掛け声より、観光業者・商工業者・農業者・地域住民の協力により盛り上げていくことが大切。

町への要望の回答

12月25日に正副議長・正副議会運営委員長が、議会報告会で町民の方々から頂いた要望をまとめて、町長に提出し、1月18日に回答を得ましたので、概要をお知らせします。

1 災害に強いまちづくりの促進

道路等の維持管理を企業体に全面委託してから、災害時など、復旧対応が遅れている所があり、迅速な対応が図られるよう、維持管理・災害対応体制の確立と企業体への指導を徹底願いたい。

● 町への回答

大雨等による応急対応や復旧対策は、業務内容を事前に特定できないため、企業体への委託には入れられず、各種のパトロール、住民通報の結果を受けてから現場を確認し、工法・予算見積・発注するため、復旧対策には一定の時間を要することをご理解願います。

既定の予算内で維持補修対応できるものは、委託業務の中に含めて迅速な措置を取っており、また応急対応については、町民皆様のご協力も得ながら早急な対応を図ってまいります。

道路側溝・排水等の老朽化が進み、災害発生が危惧されるため、早急に改善願いたい。

●町の回答

道路、都市下水路、排水路、排水側溝等の老朽化が進んでいるため、維持補修を継続的に実施中であり、延命化と並行して、優先度を毎年見直しながら計画的に改修を行ってまいります。

緊急避難道路に指定されている町道佐川道路の整備促進を図りたい。

●町の回答

緊急避難道路である佐川道路については、応急措置により従来どおり通行の安全を確保しておりますが、十分な幅員がないため退避帯を設けるなど、緊急時に対応できるように改善を図ります。

市街地付近にある農地から、大雨のたびに町道等への土砂の流出(町道東2線道路・本町地区等)があるため、耕作地からの土砂流出について早急な対策を講じられたい。

●町の回答

・本町、日の出、富原、草分地区については、土地利用の変化により、排水系統が整備当初の能力では不足してきており、抜本

的な改修事業化へ向けて準備を進めてまいります。

・土砂流出の少ない作付の調整・道路間に緩衝帯や素掘り側溝等を設けて、流出を抑止できないか、関係地権者と話し合っています。



2 安心・安全な

道路環境の整備及び促進

町道で横断管等布設工事後の埋め戻し箇所が大きく段差となっている所があり、工事施工業者に完了後も手直しをするよう指導等することができないか。

●町の回答

工事に起因するものについては、施行者に手直しを指示しております。なお、自然に生じた陥没や段差については、随時補修を行っておりますので、情報の提供をお願いいたします。

3 高齢者への福祉サービスの充実

美瑛町では、シルバーポールという目印を高齢者宅に立て、無料で玄関前の除雪サービスを行っており、上富良野町も高齢者宅等の無償除雪サービスを実施願いたい。

●町の回答

日常生活に支障のある虚弱な高齢者等やその介護者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、各種の在宅福祉サービス(除雪サービスを含む)を一定の利用料負担をお願いし、残りの経費を町が負担する仕組みとして展開しています。

他の在宅福祉サービスの負担と提供のあり方を考慮しますと、除雪サービスのみを無償で提供することは難しいものと思われまます。また、美瑛町の事業は、町道除雪の出入り口に残った雪のみの除雪であり、本町はそれらの雪も含め現行の除雪サービスで対応しているので、ご理解願います。

